1. Course Description

この授業では、主に衛生学・公衆衛生学の内容を中心に復習します。
柔道整復師として、地域の医療に従事する上で基盤となる公衆衛生の理念、考え方、活動方法について学びます。
また、衛生学・公衆衛生学は国家試験の出題科目にもなるので、国家試験の過去問題を使用しながら授業を実施していきます。
理解度を確認するために、授業内で確認テストを実施します。問題の解説や授業中の質問に対してのグループディスカッションが行いながら授業を進めていきます。
この授業では、DP1,DP2に関する知識を習得します。

2. Course Objectives

公衆衛生の基本理念や、活動内容を理解する。
健康問題やその関連要因について理解する。
衛生学・公衆衛生学の国家試験問題への対応力を身に付ける。

3. Grading Policy

期末試験(100%)
60%以上で単位を認定します。
2/3以上の出席がない学生は期末試験の受験資格が与えられません。
定期試験実施後、テストの解説を行います。
小テストは授業毎に解説を行います。

4. Textbook and Reference

Textbook
衛生学・公衆衛生学改訂第6版 南江堂

5. Requirements(Assignments)

既に学習している範囲になりますので、予習を行い講義に臨んでください。
復習は講義中に前回講義について的小テストを実施しますので、必ず次の講義までに講義内容の確認を行ってください。

6. Note

シラバスの計画に沿って講義を実施しますが、状況により調整しながら実施します。

7. Schedule

[1]	オリエンテーション(過去国家試験の出題傾向・学習方法)
[2]	確認テストと要点の解説
・衛生学、公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動
・健康の概念
[3]	確認テストと要点の解説
・疾病予防と健康管理
[4]	確認テストと要点の解説
・感染症の予防
[5]	確認テストと要点の解説
・消毒
[6]	確認テストと要点の解説
・環境衛生(環境保護)
[7]	確認テストと要点の解説
・生活環境、食品衛生活動
[8]	確認テストと要点の解説
・母子健康
・学校保健
[9]	確認テストと要点の解説
・産業保健
[10]	確認テストと要点の解説
・成人、高齢者保健
・精神保健
[11]	確認テストと要点の解説
・地域保健と国際保健
[12]	確認テストと要点の解説
・衛生行政と保健医療の制度
[13]	確認テストと要点の解説
・医療の倫理と安全の確保
[14]	確認テストと要点の解説
・疫学
[15]	期末試験とまとめ(試験のフィードバック)
試験と、試験のフィードバック、これまでのまとめについて講義を実施します。